



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立西岡北小学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

●朝読書

本校では、朝の会が始まるまでの10分間を朝読書の時間として設定しています。図書館で借りた本や家から持ってきた本など、読みたい本にじっくり浸り、読書に親しむ姿が見られています。クラスによっては、係活動の一環として児童が読み聞かせを行い、友達と共に読書を楽しんでいます。

●読み聞かせ・おすすめの本紹介

『にしきたっこ読書ウィーク』では、教員がおすすめする本を読み聞かせしたり、紹介したりしました。紹介した本は、ポスターにして校内と図書館内に掲示し、児童の読書への関心をさらに高めることを目指しています。

また、冬休みの貸出前に、全校児童一人一人がおすすめする本を葉っぱのカードに書き、『おすすめの本』を作りました。体育館前に掲示したことで、立ち止まって他の子が書いた本のタイトルに興味を示している子が多くいました。



●図書委員会「読書すごろく」

「もっと本を好きになってほしい」という委員の願いのもと企画された『読書すごろく』。本を借りた分だけマスを進められ、景品のしおりを目指すうちにたくさんの本を読めるという図書館へ足を運びたい内容でした。いつも以上に図書館が賑わい、笑顔が溢れていました。

学習センター・情報センターとしての機能

●教科書で紹介されている本コーナー

国語の教科書に記載されている本を入口の近くの本棚に配架しています。教科書で学んだことから興味をもったことをより広げたり、深めたりすることができるようになっていきます。今後も少しずつこのコーナーを充実させ、児童の学びを支えていけるようにしていきます。



●調べ学習を支える本棚

生活科や理科で生き物の生態や育て方を調べる際に活用できる本は、複数冊ずつ購入し、1つの本棚にまとめています。そうすることで、「この本棚にあるはずだ。」と児童が進んで本を探し、調べられることを目指しています。実際に、今年度も低学年を中心に、学習に活用することができました。

また、高学年では、一人一台端末を活用する場面が増えましたが、「図書館の本で調べたい。」と児童自ら図書館資料を活用することもありました。可能な限り、時代に合った新しい情報を児童が収集できるように選書し、配架していきたいと考えています。

